



大阪歴史博物館前を行進 (7月4日)

戦争する国への 暴走—NO

原水爆禁止世界大会・NPT再検討会議成功へ—府内で国民平和大行進

平和への歩み—YES



枚方市役所へ行進 (7月5日)



教育塔前での集会 (大阪城公園・7月4日)

国民平和大行進が、6月30日から7月7日まで大阪府内23コースで展開されました。
来年5月に国連で行われるNPT(核不拡散条約)再検討会議が開催されることもあり、「核兵器全面禁止のアピール」署名を大阪府内でも100万筆集めようとする奮闘。安倍政権の「戦争する国」への暴走を許すな！と、大阪自治労連の各単組からも多くの組合員が参加し、全体で約5000人の参加で成功しました。また、今年からは「国際青年リレー」があり、フィリピンの青年が大阪を歩くなど、国際的な運動にも変わってきました。



オープニングイベントで盛り上がる大阪の参加者



開会式で楽しく交流、おなかもいっぱい！



「食のコース」に参加さとうきびを収穫。とったぞー！」



閉会イベント、1500人で飛ばした風船。「未来にはばたけ！」

「おきプロNEXT」は さらに次へのスタート



「おきプロNEXT」全国実行委員長

宮地 絵美さん (大阪市労組)

自治労連結成25周年企画として、6月13日から15日まで沖縄で開催された「おきプロNEXT」。大阪から127人、全国から1500人をこえる青年が集まり交流し、「明日へのチカラ」を職場に持ち帰りました。全国実行委員長として奮闘した大阪市労組の宮地絵美さんに、企画立ち上げからの1年半を振り返ってもらいました。

「おきプロNEXT」の顔として
試行錯誤、緊張の連続

「おきプロNEXT」はついこの前なのに、もう何年もたつたような感覚です。実行委員長を引き受けたのは、「前回の「おきプロ」がとても楽しかった」、ただそれだけでした。それからは激動の1年半でした。会議をどう進めるかもわからず、全国の実行委員の意見をまとめる作業は毎回試行錯誤でした。「おきプロNEXT」の顔として、いろんな場で発言することも多く、いつも緊張し

て胃が痛い思いでした。また、大阪の実行委員も兼任していたので、最後の1ヶ月は「おきプロNEXT」のことだけ考えていたような気がします。結果は、47都道府県すべてから1500人を超える参加者で、当日壇上から感じた熱気は本当にすごいものでした。

一緒にがんばる人がいる
労働組合って、いいな

先日、最後の実行委員会を総括を行いました。平和学習の感想以外にも、「おきプロNEXTを通じていろんな人とつながれた」「県の中で交流が深まった」「青年部がないところも参加して、青年部を作ろうという動きになっている」などの感想が寄せられ、本当にやってよかったと強く感じています。

今感じるのは、本当に多くの人に支えられたということ。私自身の力は本当に小さなもの。でも、みなさんが協力し、支え、応援してくれてようやくできあがったものと思います。「おきプロNEXT」はゴールではなく、いろんなことのスタートだとも思っています。この先、どんなことがあってもこの時のがんばりを思えば一生懸命取り組める。そう思っています。